

国語科 学習案内

【学習目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【3年間の学習内容】

主な学習内容[活動]	
1 学年	☆ 詩・物語・説明文 ☆ 古典(物語・故事成語) ☆ 随筆 ☆ 小説 ☆ 読書活動(案内・コラム) ☆ 文法・漢字・言葉 ☆ 記録文 ☆ 記録文 ☆スピーチ
2 学年	☆ 詩・小説 ☆ 物語 ☆ 古典(随筆・漢詩) ☆ 読書活動(案内・コラム) ☆ 説明文・情報 ☆ 論説文 ☆ 論説文 ☆ 短歌・解説 ☆ 文法・漢字・言葉 ☆ 随筆 ☆ スピーチ
3 学年	☆ 詩・小説 ☆ 古典(紀行文・論語) ☆ 読書活動(案内・コラム) ☆ 説明文・情報 ☆ 文法・漢字・言葉 ☆ 俳句・解説 ☆ スピーチ ☆ 論説文

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	・定期テスト ・ワークシート、ノートの内容 ・課題の取り組み状況や内容
思考・判断・表現	社会生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	・定期テスト ・ワークシート、ノートの内容 ・課題の取り組み状況や内容
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・定期テスト ・ワークシート、ノートの内容 ・課題の取り組み状況や内容

【授業時数】

1 年生	1週間に 4 時間
2 年生	1週間に 4 時間
3 年生	1週間に 3 時間

数学科 学習案内

【学習目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成

【3年間の学習内容】

	主な学習内容[活動]	
1 学年	1 章 正の数・負の数 2 章 文字の式 3 章 方程式 4 章 変化と対応	5 章 平面図形 6 章 空間図形 7 章 データの活用
2 学年	1 章 式の計算 2 章 連立方程式 3 章 一次関数 4 章 図形の調べ方	5 章 図形の性質と証明 6 章 場合の数と確率 7 章 箱ひげ図とデータの活用
3 学年	1 章 式の展開と因数分解 2 章 三平方 3 章 二次方程式 4 章 関数 $y = ax^2$	5 章 図形と相似 6 章 円の性質 7 章 三平方の定理 8 章 標本調査とデータの活用

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目 標	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しようとする。 ○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。 	定期テスト 小テスト・単元テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○数学を活用して事象を論理的に考察し、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察して、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する。 	定期テスト 小テスト・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする。 ○問題解決の課程を振り返り、評価・改善しようとする。 	ノート・プリントの記述内容 提出物 発言内容 教科に取り組む姿勢

【授業時数】

	週あたりの時数
1 年生	4
2 年生	3
3 年生	4

社会科 学習案内

【学習目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを旨とする。

【3年間の学習内容】

主な学習内容〔活動〕	
1 学年	<p>【地理】 ☆世界の姿 ☆日本の姿 ☆世界各地の人々の生活と環境 ☆世界の諸地域（アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州）</p> <p>【歴史】 ☆歴史をとらえる見方・考え方 ☆世界の古代文明と宗教のおこり ☆日本列島の誕生と大陸との交流 ☆古代国家の歩みと東アジア世界 ☆武士の政権の成立 ☆ユーラシアの動きと武士の政治の展開 ☆ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p> <p>【地理】 ☆地域調査の手法 ☆日本の地域的特色と地域区分 ☆日本の諸地域（九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方）</p> <p>【歴史】 ☆江戸幕府の成立と対外政策 ☆産業の発達と幕府政治の動き ☆欧米における近代化の進展 ☆欧米の進出と日本の開国 ☆明治維新 ☆日清・日露戦争と近代産業</p> <p>【歴史】 ☆第一次世界大戦と日本 ☆大正デモクラシーの時代 ☆世界恐慌と日本の中国侵略 ☆第二次世界大戦と日本 ☆戦後日本の出発 ☆冷戦と日本の発展 ☆新たな時代の日本と世界</p> <p>【公民】 ☆現代社会の特色と私たち ☆私たちの生活と文化 ☆現代社会の見方や考え方 ☆人権と日本国憲法 ☆人権と共生社会 ☆これからの人権保障 ☆現代の民主政治 ☆国の政治の仕組み ☆地方自治と私たち ☆消費生活と市場経済 ☆生産と労働 ☆市場経済の仕組みと金融 ☆財政と国民の福祉 ☆これからの経済と社会 ☆国際社会の仕組み ☆さまざまな国際問題 ☆これからの地域社会と日本</p>
2 学年	<p>【地理】 ☆地域調査の手法 ☆日本の地域的特色と地域区分 ☆日本の諸地域（九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方）</p> <p>【歴史】 ☆江戸幕府の成立と対外政策 ☆産業の発達と幕府政治の動き ☆欧米における近代化の進展 ☆欧米の進出と日本の開国 ☆明治維新 ☆日清・日露戦争と近代産業</p> <p>【歴史】 ☆第一次世界大戦と日本 ☆大正デモクラシーの時代 ☆世界恐慌と日本の中国侵略 ☆第二次世界大戦と日本 ☆戦後日本の出発 ☆冷戦と日本の発展 ☆新たな時代の日本と世界</p> <p>【公民】 ☆現代社会の特色と私たち ☆私たちの生活と文化 ☆現代社会の見方や考え方 ☆人権と日本国憲法 ☆人権と共生社会 ☆これからの人権保障 ☆現代の民主政治 ☆国の政治の仕組み ☆地方自治と私たち ☆消費生活と市場経済 ☆生産と労働 ☆市場経済の仕組みと金融 ☆財政と国民の福祉 ☆これからの経済と社会 ☆国際社会の仕組み ☆さまざまな国際問題 ☆これからの地域社会と日本</p>
3 学年	<p>【地理】 ☆地域調査の手法 ☆日本の地域的特色と地域区分 ☆日本の諸地域（九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方）</p> <p>【歴史】 ☆江戸幕府の成立と対外政策 ☆産業の発達と幕府政治の動き ☆欧米における近代化の進展 ☆欧米の進出と日本の開国 ☆明治維新 ☆日清・日露戦争と近代産業</p> <p>【歴史】 ☆第一次世界大戦と日本 ☆大正デモクラシーの時代 ☆世界恐慌と日本の中国侵略 ☆第二次世界大戦と日本 ☆戦後日本の出発 ☆冷戦と日本の発展 ☆新たな時代の日本と世界</p> <p>【公民】 ☆現代社会の特色と私たち ☆私たちの生活と文化 ☆現代社会の見方や考え方 ☆人権と日本国憲法 ☆人権と共生社会 ☆これからの人権保障 ☆現代の民主政治 ☆国の政治の仕組み ☆地方自治と私たち ☆消費生活と市場経済 ☆生産と労働 ☆市場経済の仕組みと金融 ☆財政と国民の福祉 ☆これからの経済と社会 ☆国際社会の仕組み ☆さまざまな国際問題 ☆これからの地域社会と日本</p>

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	定期テスト 小テスト 学びの地図（振り返りシート） 課題等
思考・判断・表現	社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	定期テスト 学びの地図（振り返りシート） 課題等
主体的に学習に取り組む態度	社会的現象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	学びの地図（振り返りシート） 提出物の取組状況や内容 授業へ取り組み姿勢

【授業時数】

1 年生	1 週間に 3 時間
2 年生	1 週間に 3 時間
3 年生	1 週間に 4 時間

理 科 学 習 案 内

【学習目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【3年間の学習内容】

主な学習内容 [活動]	
1 学年	☆生物の世界 ☆物質のすがた ☆身近な物理現象 ☆大地の変化
2 学年	☆化学変化と原子・分子 ☆生物の体のつくりとはたらき ☆電流とその利用 ☆気象のしくみと天気の変化
3 学年	☆運動とエネルギー ☆生命のつながり ☆自然界のつながり ☆化学変化とイオン ☆地球と宇宙 ☆地球の明るい未来のために

【観点別の目標と評価の視点・方法】

観 点	目 標	評価の視点・方法
知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	・ 定期テスト ・ 技能テスト
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。	・ 定期テスト ・ 技能テスト ・ 授業に取り組む姿勢 ・ ワークシート、ノート、レポート、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。	・ 定期テスト ・ 技能テスト ・ 授業に取り組む姿勢 ・ ワークシート、ノート、レポート、提出物の取組状況や内容

【授業時数】

1 年生	1 週間に 3 時間
2 年生	1 週間に 4 時間
3 年生	1 週間に 4 時間

英語科 学習案内

【学習目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

【3年間の学習内容】

主な学習内容	
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット ・be 動詞を使った文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・一般動詞を使った文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・名詞の複数形 ・疑問詞を使った疑問文と応答文(what/how many/who/what time/which/where/whose/when) ・現在進行形の文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・否定の命令文と Be で始まる命令文 ・助動詞 can を使った文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・一般動詞の過去形の文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・代名詞、形容詞 ・動名詞、to 動詞(不定詞名詞的用法) ・look 形容詞の文
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ○海外宛ての送り状を書く ○自己紹介で共通点・相違点をみつける ○持ち主を探すやり取りをする ○注文のやり取りをする ○説明文を読む <ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞の過去形を使った文 ・未来を表す be going to ~の文 ・call+A+Bの文 ・have to ~/don't have to ~の文 ・助動詞 will / must / must not ~/ should を使った文 ・接続詞 if / that / when / because を使った文 ・There is[are] ~の文(肯定文・疑問文と応答文・否定文) ・動名詞(目的語・主語) ・受け身 ・want+人+不定詞 <ul style="list-style-type: none"> ○Show and Tell(春休みの思い出のスピーチ) ○日記 ○ていねいに許可を求めたり、依頼する表現 ○メール(日常生活での出来事) ○将来の夢(スピーチ) ○電話での会話(取り次ぎをたのむ表現) ○アナウンス ○レストラン(注文や依頼の表現) ○職業診断チャート ○音声ガイド ○日本紹介(スピーチ)

3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の文(平叙文・疑問文と応答文) ・tell+人+that ・現在完了進行形 ・関係代名詞を用いた文 ・接触節を用いた文(名詞+現在分詞・過去分詞) ・仮定法(If I could~, I would/I wish you weren't) 	<ul style="list-style-type: none"> ・let+人+原形不定詞 ・現在完了形の文(継続・経験・完了) ・It is ... (for+人)+動詞の原形の文 ・疑問詞+to+動詞の原形
	<ul style="list-style-type: none"> ○記事を読む／意見を發表する ○ディスカッション ○留守番電話 ○出来事や気持ちを伝える ○要旨を捉え、感想や考えを伝え合う ○必要な情報を読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチを聞く／する ○スピーチの要点を捉え、考えを伝え合う ○手紙を読む／書く

【観点別の目標と評価の視点・方法】

観点	目標	評価の視点・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・リスニングテスト ・音読テスト ・単語テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・スピーチ ・英作文課題 ・教師や ALT とのやりとりのテスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語による教師や生徒同士の応答(コミュニケーションを続けようとする姿勢、あいづち、質問ができるか) ・ワーク ・ノート、プリント

【授業時数】

学年	週当たりの時数
1年生	4
2年生	4
3年生	4

音楽科 学習案内

【学習目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを旨とする。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容〔活動〕
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（校歌、日本の歌、合唱コンクール） ・鑑賞（バロック音楽、～ロマン派、日本の楽器、アジア諸民族の音楽） ・器楽（アルトリコーダー、箏） ・創作（リズムアンサンブル）
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（日本の歌、合唱コンクール） ・鑑賞（バロック音楽、～ロマン派、日本の楽器、世界諸民族の音楽） ・器楽（アルトリコーダー、箏） ・創作（リズムアンサンブル）
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（日本の歌、合唱コンクール） ・鑑賞（バロック音楽、～ロマン派、日本の楽器、ポピュラー音楽） ・器楽（箏） ・創作（旋律の作成）

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実技の様子 ○定期テスト、実技テスト ○課題の取り組み状況や内容
思考・判断・表現	<p>音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実技の様子 ○プリントの内容
主体的に学習に取り組む態度	<p>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時の観察 ○課題の取り組み状況や内容

【授業時数】

1 年生	45 時間(1.3 時間/週)
2 年生	35 時間(1 時間/週)
3 年生	35 時間(1 時間/週)

保健体育科 学習案内

【学習目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身につける。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容〔活動〕
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・保健分野 ・ダンス ・武道（柔道） ・器械運動（マット運動） ・陸上競技（短距離、走り幅跳び、リレー、長距離） ・球技（バレーボール、ソフトボール、サッカー、バスケットボール）
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・保健分野 ・ダンス ・武道（柔道） ・器械運動（跳び箱運動） ・陸上競技（ハードル、短距離、リレー、長距離） ・球技（バレーボール、ソフトボール、サッカー、バスケットボール）
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・保健分野 ・陸上競技（短距離・リレー・長距離） ・選択①：「陸上競技（走り幅跳び・ハードル・リレー）・器械運動（マット運動・跳び箱運動）」 ・選択②：「球技（ソフトボール・バレーボール）」 ・選択③：「武道（柔道）・ダンス」 ・選択④：「球技（サッカー・バスケットボール）」

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・授業観察 ・スキルテスト
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・授業観察
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察

【授業時数】

1 年生	105時間（3時間/週）
2 年生	105時間（3時間/週）
3 年生	105時間（3時間/週）

美術科 学習案内

【学習目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・能力の育成

【3年間の学習内容】

	主な学習内容〔活動〕
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆や絵の具の使い方 ・色の持つ性質、感情の理解 ・モダンテクニック ・陰影のつけ方 ・スケッチを通した、形のとらえ方 ・アニメーション
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の動きの美しさをとらえた立体の制作 ・色相環の理解 ・光の特性を生かした平面の制作 ・遠近法(空気遠近法、一点透視図法)
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物(彫刻刀等)の使い方 ・木材や石材の造形 ・用途や機能を考えたデザイン制作 ・古美術の文化

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成度 ・道具の使い方 ・小テスト
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの記述及びアイデアスケッチ(クロッキー帳) ・作品の過程と工夫
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、豊かな生活創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に向かう姿勢 ・ワークシートへの記述内容

【授業時数】

1年生	45 時間(1.3 時間/週)
2年生	35 時間(1 時間/週)
3年生	35 時間(1 時間/週)

技術・家庭科(技術分野) 学習案内

【学習目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容[活動]
1 学年	ガイダンス[3年間を見通した授業の内容の説明] A 技術と加工に関する技術[木材を使用した製作品の作成] D 情報の技術[SNSの安全な利用法・情報モラルについて考える]
2 学年	B 生物育成技術[作物の栽培を通して] C エネルギー変換技術[電気エネルギーについて、保守管理方法] D マルチメディアの製作[メディアの活用と表現方法について]
3 学年	D 双方向性のあるコンテンツを利用した課題解決[プログラム] D プログラム、計測・制御技術による問題発見と課題設定[身近な製品からの読み取り] これからの社会を考える[三年間のふり返りとまとめ]

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目標	評価の方法
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの回答内容 ・習得状況(レポート) ・作品の完成度 ・実習中の道具の使い方
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用する姿勢 ・学習プリントの記述内容 ・課題解決の方法 ・実習中の工夫(思考・判断)の様子
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業(教科)に取り組む姿勢 ・課題解決への意欲 ・計画立案への積極性 ・学習プリントの記述内容

【授業時数】

1 年生	35時間(前・後期制) 週2コマ続き
2 年生	35時間(前・後期制) 週2コマ続き
3 年生	18時間(隔週)

技術・家庭科(家庭分野) 学習案内

【学習目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実践に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成。

【3年間の学習内容】

	主な学習内容〔活動〕
1 学年	ガイダンス〔3年間を見通した授業の内容の説明〕 A 家族・家庭生活〔家族・家庭と地域〕 B 衣食住の生活〔食事の役割と中学生の栄養の特徴、中学生に必要な栄養を満たす食事〕 B 衣食住の生活〔衣服の選択と手入れ、日常を豊かにするための布を用いた製作〕
2 学年	A 家族・家庭生活〔幼児の生活と家族〕 B 衣食住の生活〔日常食の調理と地域の食文化〕 C 消費生活・環境〔金銭の管理と購入、持続可能な消費生活〕
3 学年	A 家族・家庭生活〔幼児の生活と遊び、これからの家族と地域〕 B 衣食住の生活〔住まいの役割と安全な住まい方〕 自立と共生を目指し、これからの生活をより良くする方法を考える〔三年間のふり返りとまとめ〕

【観点別の目標と評価の方法】

観点	目 標	評価の方法
知識・技能	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などの技術について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの回答内容 ・レポートなどの課題の達成度 ・技術の習得状況 ・作品の完成度 ・実習中の用具の使い方
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を発見し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用する姿勢 ・学習プリントの回答内容 ・課題解決の方法 ・実習中の工夫(思考・判断)の様子
主体的に学習に取り組む態度	自分として家族、課程生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む姿勢 ・課題解決への意欲 ・実習計画立案への積極性 ・学習プリントの回答

【授業時数】

1 年生	35時間(前・後期制) 週2コマ続き
2 年生	35時間(前・後期制) 週2コマ続き
3 年生	18時間(隔週)